

がん治療と就労支援のオンラインセミナーで講師を務めました



2024年2月22日、神奈川県と三井住友海上あいおい生命神奈川営業部が共同で「がんから会社を守るセミナー～治療と仕事の両立支援について考える～」と題したオンラインセミナーを開催。がん治療と仕事の両立支援やがん検診受診率向上に向けた取り組みの推進を図ることを目的に開催されたもので、弊社代表で産業医の東川麻子が「がんサバイバーの産業医が伝える～企業にサポートしてほしいがん治療～」をテーマに講演を行いました。

厚労省から事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドラインで様々な対応が示されていますが、中でも最もサポートが必要と感じるのは、メンタル面の問題。病名告知によるストレスだけでなく、これからの仕事や子育て、治療方法など多くのことを考えて決めていかなければならないため、精神的負担が大さいという問題提起をしました。

職場でのサポートの必要性として、治療方針等を主治医が本人に選択させる時代になっているため、「相談したい時、どこに行けばよいかわからない、そもそも相談に行って、何を聞けばよいかわからない」「相談というよりこの気持ちを誰かに共有したい・話したい」といったことから、がんに限定せず、職場に気軽に相談できる窓口(職場の産業医等)があるとよいでしょう。

また、がんと診断された場合、現在は入院せず、治療をしながら仕事をする時代なので、診断後、数日休暇を取得し、すぐに不規則勤務をするケースが多くあります。不規則勤務を続ける中で、治ってきたら通常勤務に戻るといった形。昔とはがんと仕事の両立の仕方が大きく異なるため、社内制度や周りの人の心構えも変えていく必要があります。

この他、「がん患者の治療に対する悩み」「会社は何ができるのか」「職場でできる取り組み」についてご説明しました。

※2024年5月2日の保険毎日新聞でも本セミナーが取り上げられました。



出典：保険毎日新聞 2024年 5月2日 6面 「三井住友海上あいおい生命 がん治療と就労支援でオンラインセミナー」